

**第6次川島町総合振興計画のための  
町民アンケート調査結果**

2022年8月

川島町

# 目 次

I. 調査概要.....	1
II. 調査結果.....	2
1. 調査対象者.....	2
2. アンケート結果.....	5
III. まとめ.....	31
1. 「まもる」.....	32
2. 「つなぐ」.....	32
3. 「つくる」.....	32
4. 「そだてる」.....	33

## I. 調査概要

- ①調査実施期間：2022年6月16日～2022年6月30日
- ②調査方法：郵送にて配布・回収またはWeb上での回答
- ③調査対象：18歳以上の町民から無作為に2,000人を抽出
- ④回収状況
  - 有効回収数：550票（Web回答：166、郵送：384）  
（前回：863票（Web回答：266、郵送：597））
  - 有効回収率：27.5%（前回：43.2%）

## II. 調査結果

### 1. 調査対象者

#### (1) 性別

単一回答	n	%
全体	(550)	
1 男性	221	40.2
2 女性	234	42.5
3 回答しない	36	6.5
無回答	59	10.7

#### (2) 年齢 (2022年5月1日現在)

年齢別では、「70歳以上」の割合が21.1%と最も大きい。

単一回答	n	%
全体	(550)	
1 18歳～19歳	19	3.5
2 20歳～24歳	40	7.3
3 25歳～29歳	23	4.2
4 30歳～34歳	46	8.4
5 35歳～39歳	68	12.4
6 40歳～44歳	53	9.6
7 45歳～49歳	83	15.1
8 50歳～54歳	22	4.0
9 55歳～59歳	15	2.7
10 60歳～64歳	25	4.5
11 65歳～69歳	36	6.5
12 70歳以上	116	21.1
無回答	4	0.7

#### (3) 職業

職業別では、「会社員・団体職員（正規雇用）」の割合が31.3%と最も大きく、次いで「無職」が25.8%、「派遣・契約社員、パート、アルバイト、非常勤、嘱託」が20.9%と続く。

単一回答	n	%
全体	(550)	
1 農業	12	2.2
2 経営者、会社役員、自営業	43	7.8
3 会社員・団体職員（正規雇用）	172	31.3
4 派遣・契約社員、パート、アルバイト、非常勤、嘱託	115	20.9
5 公務員	24	4.4
6 学生	28	5.1
7 無職	142	25.8
8 1～7以外	12	2.2
無回答	2	0.4

(4) 居住地区

居住地区では、「伊草（市街化区域）」の割合が20.7%、「中山（市街化区域）」が19.3%と大きく、次いで「八ツ保」が12.0%と続く。

単一回答	n	%
全体	(550)	
1 中山（市街化区域）	106	19.3
2 中山（市街化調整区域）	42	7.6
3 伊草（市街化区域）	114	20.7
4 伊草（市街化調整区域）	38	6.9
5 三保谷	60	10.9
6 出丸	54	9.8
7 八ツ保	66	12.0
8 小見野	49	8.9
無回答	21	3.8

(5) 居住歴

居住歴では、「県内の他市町村から転入してきた」の割合が40.5%と最も大きく、次いで「生まれてからずっと住んでいる」が28.9%、「生まれは町内だが、一時的に転出したことがある」が15.8%、「県外から転入してきた」が14.0%と続く。

単一回答	n	%
全体	(550)	
1 生まれてからずっと住んでいる	159	28.9
2 生まれは町内だが、一時的に転出したことがある	87	15.8
3 県内の他市町村から転入してきた	223	40.5
4 県外から転入してきた	77	14.0
無回答	4	0.7

(6) 居住年数（合計）

居住年数（合計）では、「20年以上」の割合が64.7%と最も大きく、次いで「10年以上20年未満」が17.5%と続き、居住年数の長い回答者の割合が大きい。

単一回答	n	%
全体	(550)	
1 5年未満	54	9.8
2 5年以上10年未満	39	7.1
3 10年以上20年未満	96	17.5
4 20年以上	356	64.7
無回答	5	0.9

(7) 結婚

婚姻状況では、「結婚している」の割合が63.3%であり、「結婚していない(独身)」が28.7%となっている。

単一回答	n	%
全体	(550)	
1 結婚している(事実婚を含む)	348	63.3
2 結婚したが、死別・離別した(独身)	39	7.1
3 結婚していない(独身)	158	28.7
無回答	5	0.9

(8) 最終学歴

最終学歴では、「高校卒業」の割合が39.5%と最も大きく、次いで、「専門学校・短大卒業」が26.0%、「大学・大学院卒業」24.7%と続く。

単一回答	n	%
全体	(550)	
1 中学校卒業	36	6.5
2 高校卒業	217	39.5
3 専門学校・短大卒業	143	26.0
4 大学・大学院卒業	136	24.7
5 その他	9	1.6
無回答	9	1.6

(9) 昨年(令和3年)の年収

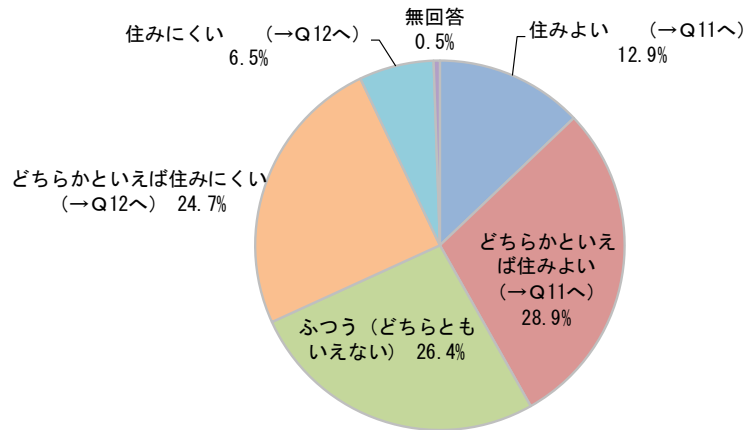
昨年(令和3年)の年収では、「100万円未満」の割合が27.3%と最も大きく、次いで「200万円台」が16.9%、「100万円台」が13.6%と続く。

単一回答	n	%
全体	(550)	
1 100万円未満	150	27.3
2 100万円台	75	13.6
3 200万円台	93	16.9
4 300万円台	71	12.9
5 400万円台	59	10.7
6 500万円台	33	6.0
7 600万円～900万円台	35	6.4
8 1,000万円以上	9	1.6
無回答	25	4.5

## 2. アンケート結果

- まち全体の印象については、「どちらかといえば住みよい」の割合が 28.9%と最も大きく、次いで「ふつう（どちらともいえない）」が 26.4%、「どちらかといえば住みにくい」が 24.7%と続く。
- 川島町が定めた指標「住みよさ町民満足度」※は、63.4%となる。  
(2020年：63.2%)

[Q10]まち全体の印象についておたずねします。あなたにとって、川島町は住みよいまちですか。  
(1つに○)  
(n=550)



単一回答	2022年		2020年	
	n	%	n	%
全体	(550)		(863)	
1 住みよい (→Q11へ)	71	12.9	118	13.7
2 どちらかといえば住みよい (→Q11へ)	159	28.9	207	24.0
3 ふつう (どちらともいえない)	145	26.4	291	33.7
4 どちらかといえば住みにくい (→Q12へ)	136	24.7	185	21.4
5 住みにくい (→Q12へ)	36	6.5	60	7.0
無回答	3	0.5	2	0.2

※「住みよさ町民満足度」算出式

住みよい=5、どちらかといえば住みよい=4、ふつう=3、

どちらかといえば住みにくい=2、住みにくい=1

住みよい  $71 \times 5 = 355$   $1,734 \div 547$  (回答者数) = 3.17

どちらかといえば住みよい  $159 \times 4 = 636$   $3.17 \div 5 \times 100 = 63.4\%$

ふつう (どちらともいえない)  $145 \times 3 = 435$

どちらかといえば住みにくい  $136 \times 2 = 272$

住みにくい  $36 \times 1 = 36$

(無回答3)

1,734

- 年齢別では、10歳代と20歳代前半の若年層と40歳代後半、50歳代後半の満足度が全体（63.4%）より低い。特に50歳代後半の満足度が50.7%と低くなっている。

### 【年齢別】

		全体	住みよい	どちらかといえば住みよい	ふつう（どちらともいえない）	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答	満足度（%）
全体		(550) (%)	71 12.9	159 28.9	145 26.4	136 24.7	36 6.5	3 0.5	63.4
Q2 年齢 (5月1日現在)	18歳～19歳	(19)	4 21.1	1 5.3	5 26.3	5 26.3	4 21.1	0 0.0	55.8
	20歳～24歳	(40)	6 15.0	6 15.0	4 10.0	14 35.0	10 25.0	0 0.0	52.0
	25歳～29歳	(23)	6 26.1	3 13.0	7 30.4	6 26.1	1 4.3	0 0.0	66.1
	30歳～34歳	(46)	5 10.9	20 43.5	12 26.1	7 15.2	2 4.3	0 0.0	68.3
	35歳～39歳	(68)	3 4.4	34 50.0	14 20.6	13 19.1	4 5.9	0 0.0	65.6
	40歳～44歳	(53)	7 13.2	16 30.2	12 22.6	16 30.2	2 3.8	0 0.0	63.8
	45歳～49歳	(83)	6 7.2	20 24.1	25 30.1	29 34.9	3 3.6	0 0.0	59.3
	50歳～54歳	(22)	4 18.2	7 31.8	5 22.7	4 18.2	2 9.1	0 0.0	66.4
	55歳～59歳	(15)	1 6.7	2 13.3	5 33.3	3 20.0	4 26.7	0 0.0	50.7
	60歳～64歳	(25)	3 12.0	11 44.0	6 24.0	4 16.0	1 4.0	0 0.0	68.8
	65歳～69歳	(36)	4 11.1	11 30.6	12 33.3	8 22.2	1 2.8	0 0.0	65.0
	70歳以上	(116)	22 19.0	27 23.3	38 32.8	26 22.4	1 0.9	2 1.7	67.5

- 居住地区別では、八ツ保地区の満足度が57.0%と最も低くなっており、一方で伊草地区は市街化区域、市街化調整区域とも高くなっている。

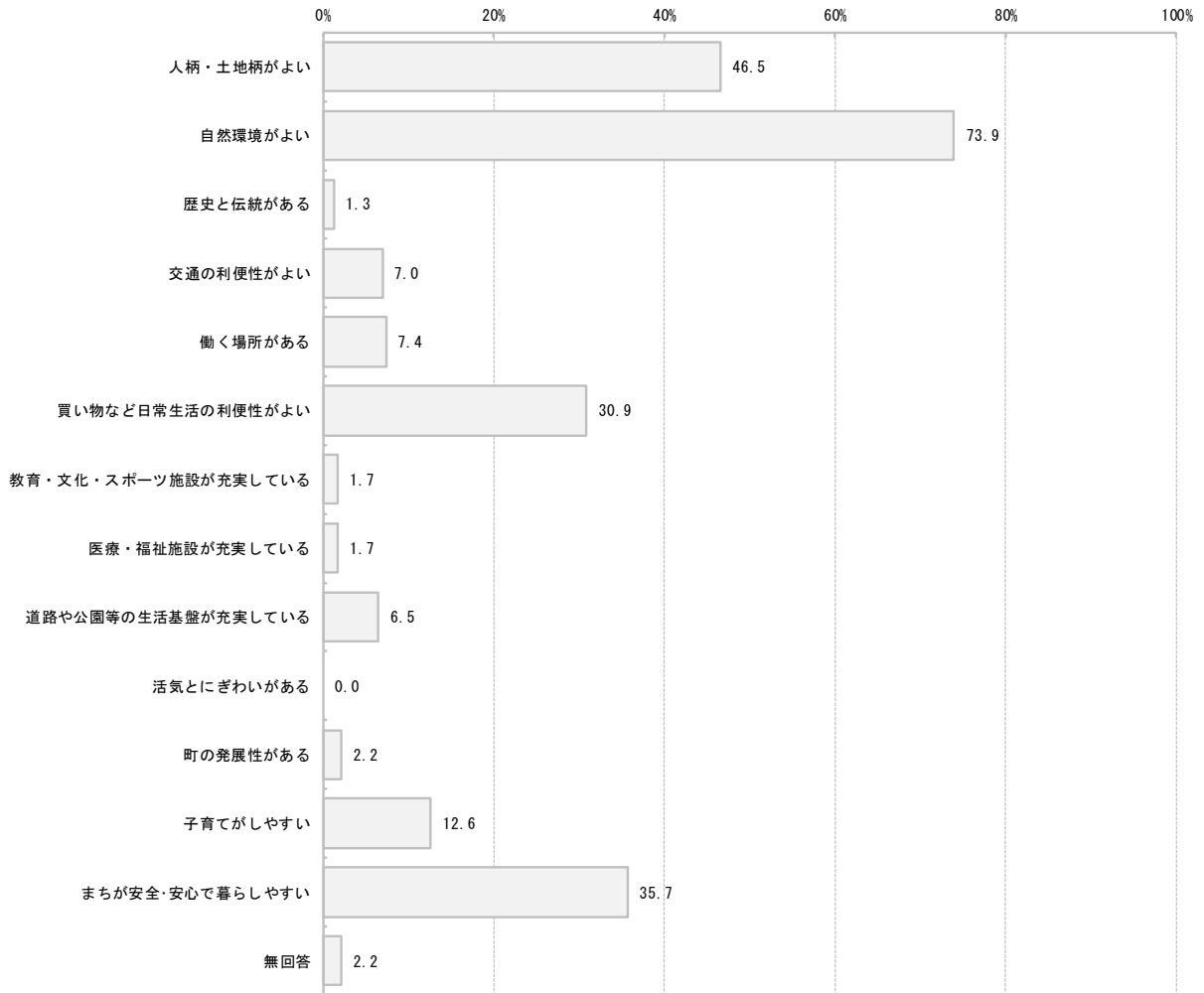
### 【居住地区別】

		全体	住みよい	どちらかといえば住みよい	ふつう（どちらともいえない）	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答	満足度（%）
全体		(550) (%)	71 12.9	159 28.9	145 26.4	136 24.7	36 6.5	3 0.5	63.4
Q4 居住地区	中山（市街化区域）	(106)	12 11.3	25 23.6	32 30.2	32 30.2	4 3.8	1 0.9	61.7
	中山（市街化調整区域）	(42)	8 19.0	12 28.6	11 26.2	7 16.7	4 9.5	0 0.0	66.2
	伊草（市街化区域）	(114)	17 14.9	47 41.2	19 16.7	24 21.1	7 6.1	0 0.0	67.5
	伊草（市街化調整区域）	(38)	6 15.8	11 28.9	14 36.8	5 13.2	2 5.3	0 0.0	67.4
	三保谷	(60)	5 8.3	18 30.0	21 35.0	12 20.0	4 6.7	0 0.0	62.7
	出丸	(54)	10 18.5	11 20.4	14 25.9	15 27.8	4 7.4	0 0.0	63.0
	八ツ保	(66)	3 4.5	17 25.8	18 27.3	23 34.8	5 7.6	0 0.0	57.0
	小見野	(49)	9 18.4	10 20.4	11 22.4	15 30.6	4 8.2	0 0.0	62.0



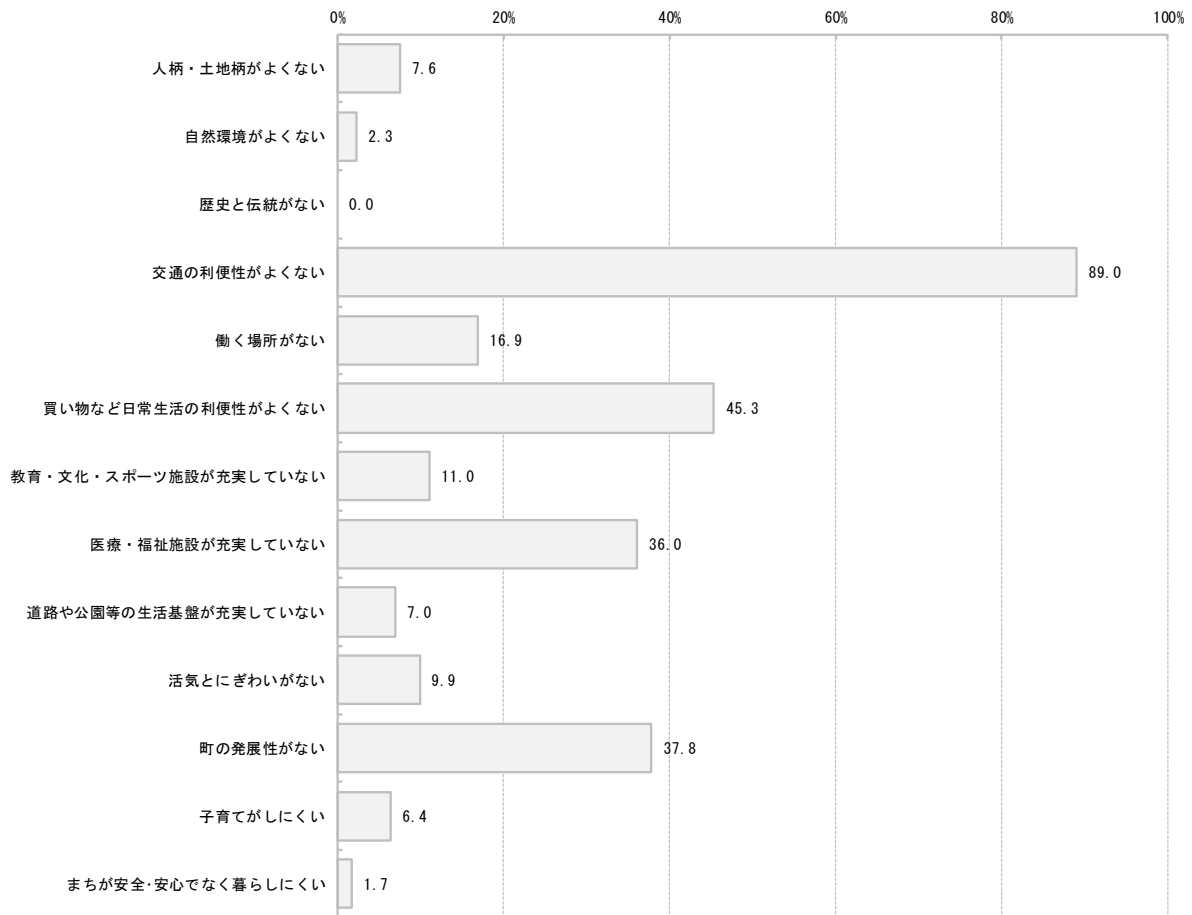
- 「住みよい」「どちらかといえば住みよい」理由としては、「自然環境がよい」と回答した割合が 73.9%と最も大きくなっている。次いで、「人柄・土地柄がよい」(46.5%)、「まちが安全・安心で暮らしやすい」(35.7%)、「買い物など日常生活の利便性がよい」(30.9%)と回答した割合が大きい。

[Q11]前の設問で「1～2」に○をつけた方のみお答えください。住みよいとの回答の主な理由は何ですか。  
 (主なものを3つまでに○)  
 (n=230)



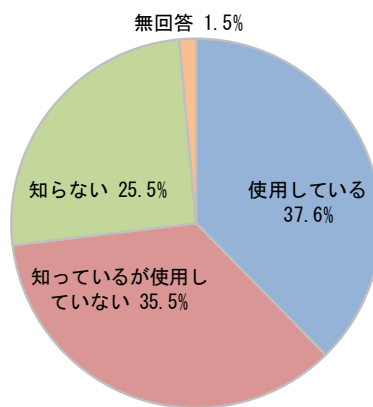
- 「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」理由としては、「交通の利便性がよくない」と回答した割合が89.0%と最も大きくなっている。次いで、「買い物など日常生活の利便性がよくない」(45.3%)、「町の発展性がない」(37.8%)、「医療・福祉施設が充実していない」(36.0%)と回答した割合が大きい。

[Q12]前の設問で「4～5」に○をつけた方のみお答えください。住みにくいとの回答の主な理由は何ですか。(主なもの3つまでに○)  
(n=172)

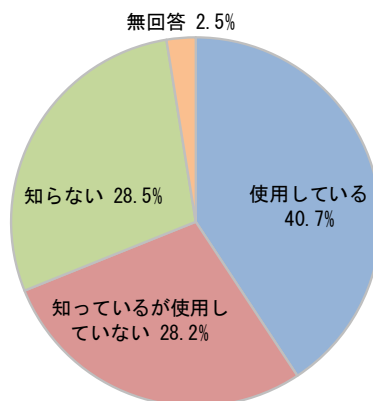


- 「かわべえメール」については、「使用している」の割合が37.6%、「知っているが使用していない」が35.5%、「知らない」が25.5%で、使用していない割合（61.0%）が大きい。
- 「ライン」については「使用している」の割合が40.7%、「知らない」が28.5%、「知っているが使用していない」が28.2%と約4割が使用している。
- わずかではあるが「ライン」の方が使用している割合が大きい。

[Q13]町から携帯電話等に防災情報・防犯情報・その他イベント情報等が発信される「かわべえメール」があります。あなたは知っていますか。（1つに○）  
(n=550)

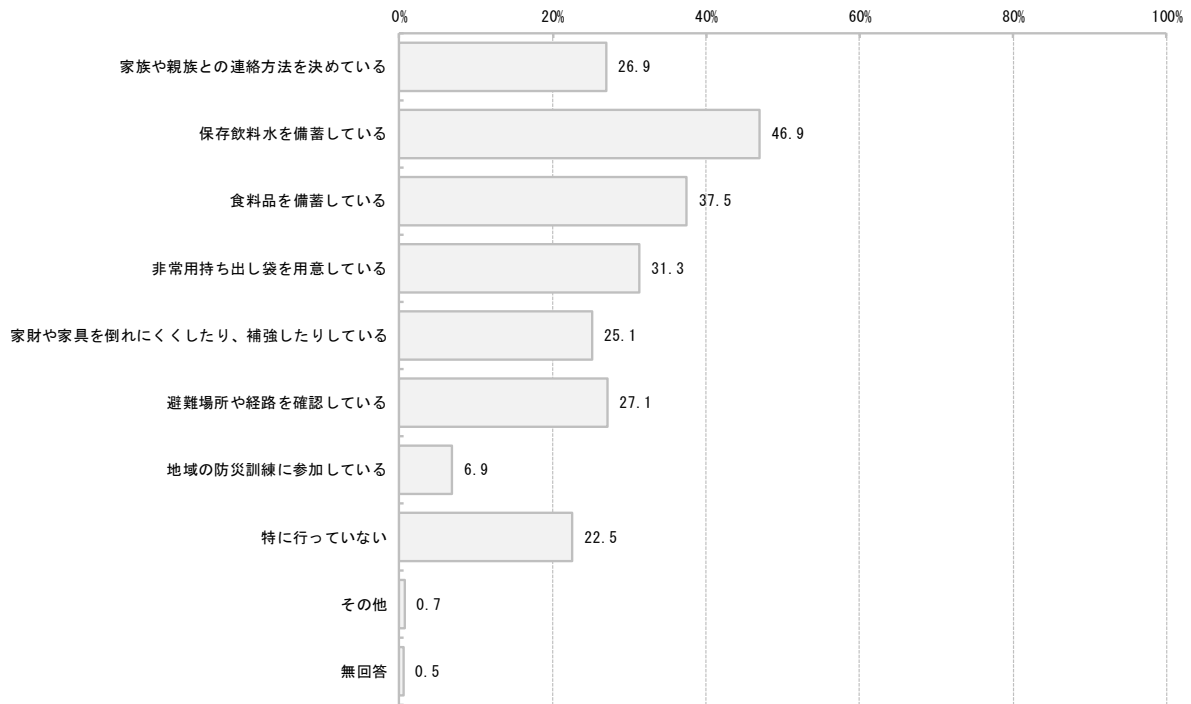


[Q14]町から携帯電話等に防災情報・防犯情報・その他イベント情報等が発信される「LINE（ライン）」があります。あなたは知っていますか。（1つに○）  
(n=550)



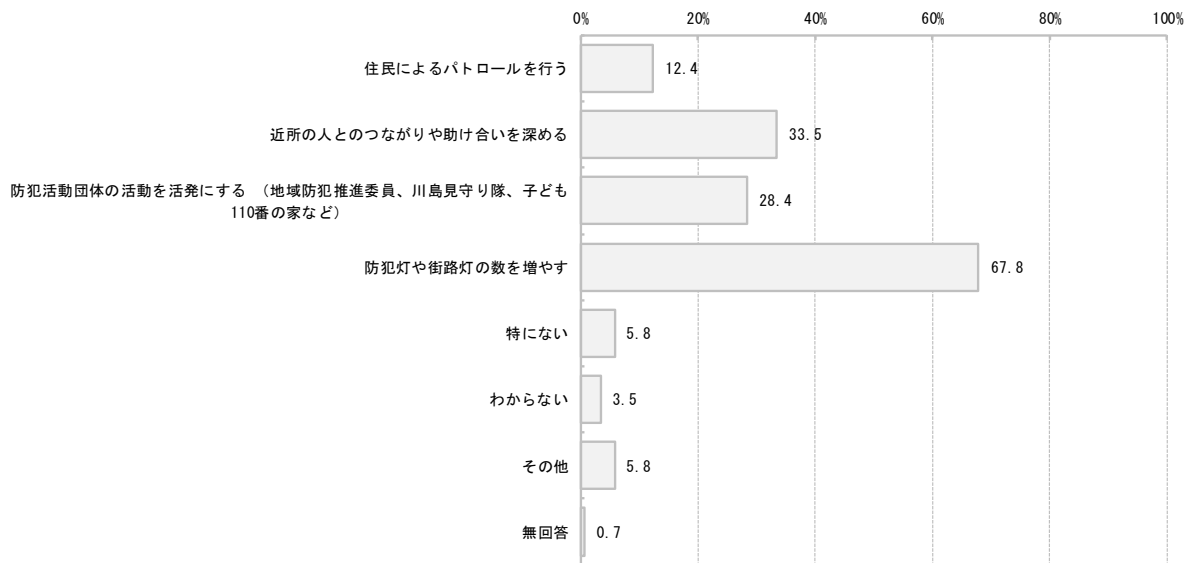
- 災害対策の項目では、普段行っている防災準備として、「保存飲料水を備蓄している」と回答した割合が46.9%と最も大きい。
- 一方で、「地域の防災訓練に参加している」と回答した割合は、6.9%と他項目に比べとても小さい。

[Q15]あなたは日ごろから災害に備え、どのような準備を行っていますか。また、近年の災害をきっかけにして、新たに準備を始めたものはありますか。(あてはまるものすべてに○)  
(n=550)



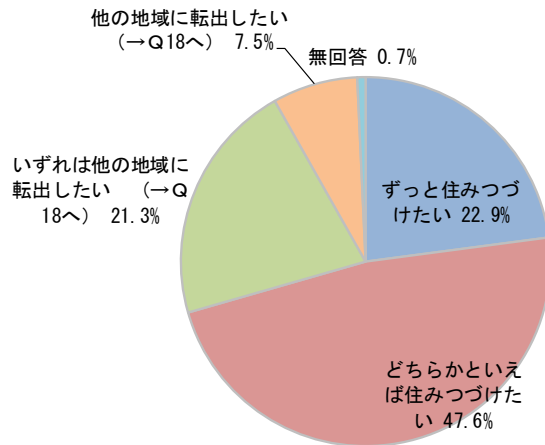
- 犯罪防止の項目では、地域や行政が取り組むべき事項として、「防犯灯や街路灯の数を増やす」と回答した割合が67.8%と最も大きい。
- 続いて、「近所の人とのつながりや助け合いを深める」(33.5%)、「防犯活動団体の活動を活発にする」(28.4%)と回答した割合も大きい。
- その他の回答としては、防犯カメラの設置(15人)、警察官によるパトロール強化(5人)などが挙げられている。

[Q16]あなたは、犯罪を防止するために、地域や行政がどのような取り組みをしたらよいと思いますか。  
 (主なものを2つまでに○)  
 (n=550)



- 川島町に「ずっと住みつづけたい（住みたい）」「どちらかといえば住みつづけたい（どちらかといえば住みたい）」と回答した割合は、計 70.5%となっており、2020 年に実施したアンケート結果（70.9%）より 0.4 ポイント低下している。

[Q17]あなたは、川島町にこれからも住みつづけたいと思いますか。（1つに○）  
(n=550)



単一回答	2022 年		2020 年	
	n	%	n	%
全体	(550)		(863)	
1 ずっと住みつづけたい	126	22.9	226	26.2
2 どちらかといえば住みつづけたい	262	47.6	386	44.7
3 いずれは他の地域に転出したい (→Q18へ)	117	21.3	199	23.1
4 他の地域に転出したい (→Q18へ)	41	7.5	44	5.1
無回答	4	0.7	8	0.9

- 年齢別にみると、年齢が若い層ほど居住継続意識が低く、高齢になるほど高くなっている。特に20歳代前半の割合は35.0%と平均(70.5%)の半分以下の数値である。

【年齢別】

		全体	ずっと住み つづけたい	どちらかとい えば住み つづけたい	いずれは他 の地域に転 出したい	他の地域に 転出したい	無回答	住みつづ けたいと思 う町民の割 合(%)
全体		(550)	126 (22.9)	262 (47.6)	117 (21.3)	41 (7.5)	4 (0.7)	70.5
Q2 年齢 (5月1日現在)	18歳～19歳	(19)	1 (5.3)	7 (36.8)	7 (36.8)	4 (21.1)	0 (0.0)	42.1
	20歳～24歳	(40)	5 (12.5)	9 (22.5)	18 (45.0)	8 (20.0)	0 (0.0)	35.0
	25歳～29歳	(23)	3 (13.0)	10 (43.5)	10 (43.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	56.5
	30歳～34歳	(46)	6 (13.0)	27 (58.7)	9 (19.6)	4 (8.7)	0 (0.0)	71.7
	35歳～39歳	(68)	12 (17.6)	35 (51.5)	18 (26.5)	3 (4.4)	0 (0.0)	69.1
	40歳～44歳	(53)	8 (15.1)	28 (52.8)	14 (26.4)	3 (5.7)	0 (0.0)	67.9
	45歳～49歳	(83)	15 (18.1)	45 (54.2)	17 (20.5)	6 (7.2)	0 (0.0)	72.3
	50歳～54歳	(22)	4 (18.2)	13 (59.1)	4 (18.2)	1 (4.5)	0 (0.0)	77.3
	55歳～59歳	(15)	5 (33.3)	7 (46.7)	2 (13.3)	1 (6.7)	0 (0.0)	80.0
	60歳～64歳	(25)	9 (36.0)	11 (44.0)	4 (16.0)	1 (4.0)	0 (0.0)	80.0
	65歳～69歳	(36)	10 (27.8)	20 (55.6)	2 (5.6)	3 (8.3)	1 (2.8)	83.3
	70歳以上	(116)	48 (41.4)	49 (42.2)	11 (9.5)	6 (5.2)	2 (1.7)	83.6

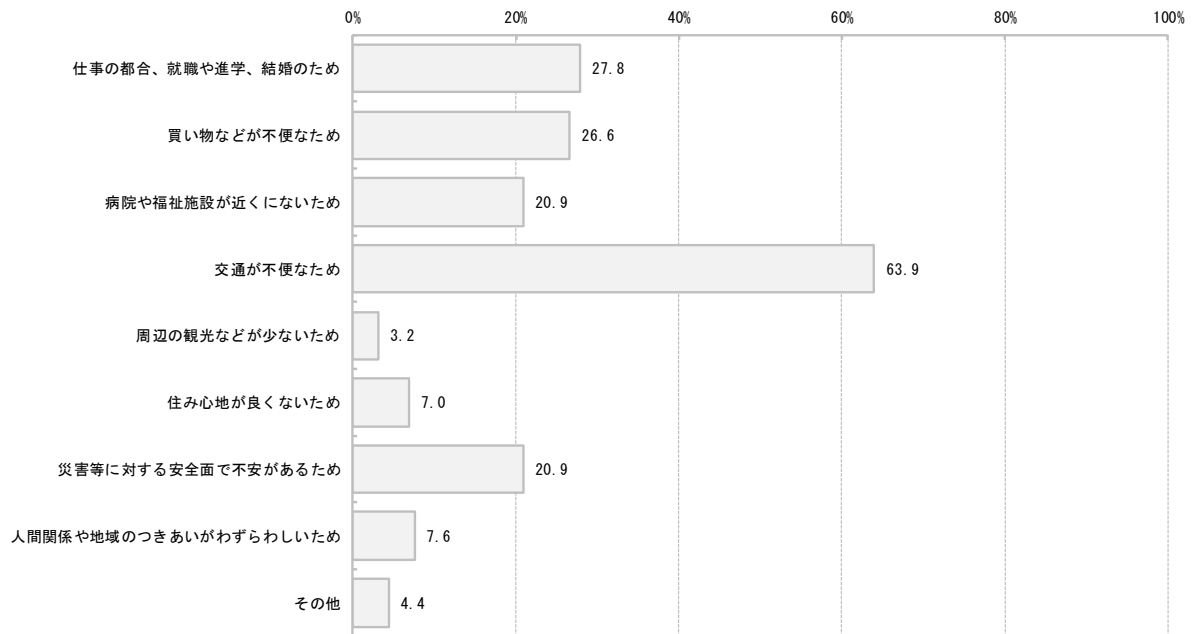
- 居住地区別にみると、伊草地区(市街化区域)の居住継続意識が低くなっている。

【居住地区別】

		全体	ずっと住み つづけたい	どちらかとい えば住み つづけたい	いずれは他 の地域に転 出したい	他の地域に 転出したい	無回答	住みつづ けたいと思 う町民の割 合(%)
全体		(550)	126 (22.9)	262 (47.6)	117 (21.3)	41 (7.5)	4 (0.7)	70.5
Q4 居住地区	中山(市街化区域)	(106)	16 (15.1)	57 (53.8)	21 (19.8)	12 (11.3)	0 (0.0)	68.9
	中山(市街化調整区域)	(42)	13 (31.0)	19 (45.2)	8 (19.0)	2 (4.8)	0 (0.0)	76.2
	伊草(市街化区域)	(114)	19 (16.7)	53 (46.5)	36 (31.6)	4 (3.5)	2 (1.8)	63.2
	伊草(市街化調整区域)	(38)	11 (28.9)	23 (60.5)	3 (7.9)	1 (2.6)	0 (0.0)	89.5
	三保谷	(60)	12 (20.0)	28 (46.7)	12 (20.0)	8 (13.3)	0 (0.0)	66.7
	出丸	(54)	21 (38.9)	19 (35.2)	10 (18.5)	4 (7.4)	0 (0.0)	74.1
	八ツ保	(66)	15 (22.7)	31 (47.0)	14 (21.2)	6 (9.1)	0 (0.0)	69.7
	小見野	(49)	16 (32.7)	23 (46.9)	8 (16.3)	2 (4.1)	0 (0.0)	79.6

- 他の地域への転出を検討している理由をみると、「交通が不便なため」の割合が63.9%と最も大きい。
- 一方で、「住み心地が良くないため」は7.0%、「人間関係や地域のつきあいがわずらわしいため」は7.6%と割合が小さい。

[Q18]前問で「3～4」に○をつけた方のみお答えください。その主な理由は何ですか。  
 (主なもの2つまでに○)  
 (n=158)

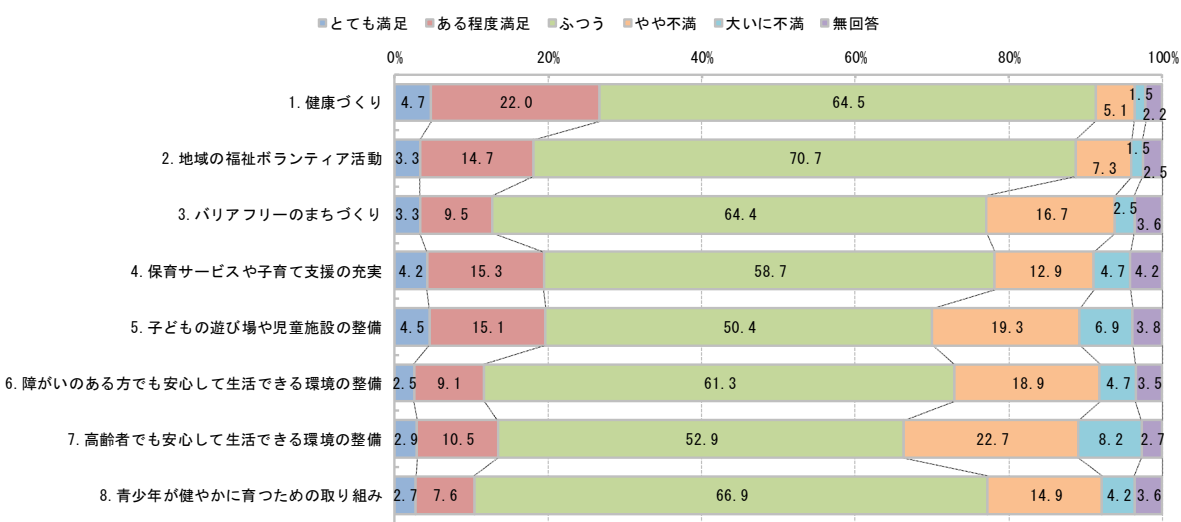




### 【分野別取り組み 保健・医療・福祉】

- 保健・医療・福祉に関する取り組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「1. 健康づくり」（計 27.2%）となっている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「7. 高齢者でも安心して生活できる環境の整備」（計 30.6%）となっている。

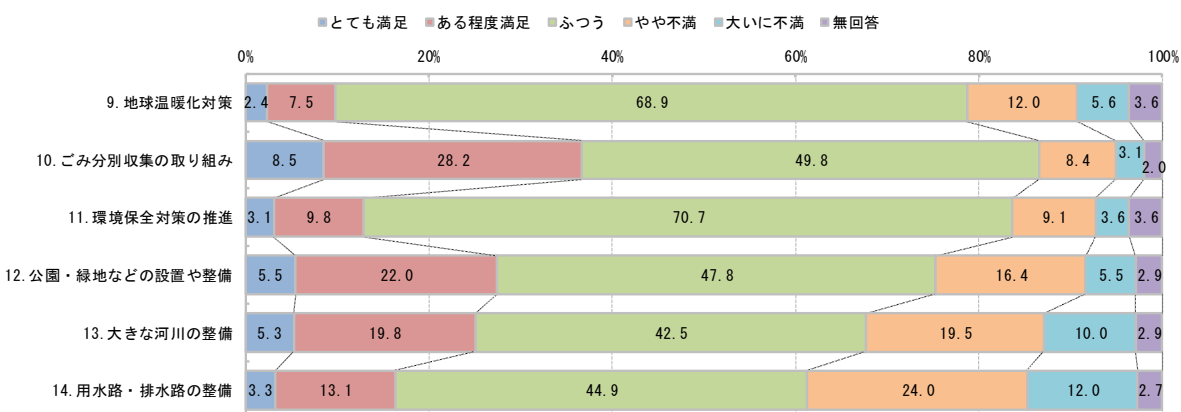
[Q19]川島町の各分野の取り組みについてどのように感じていますか。（項目ごとに1つに○）



### 【分野別取り組み 自然環境・生活環境】

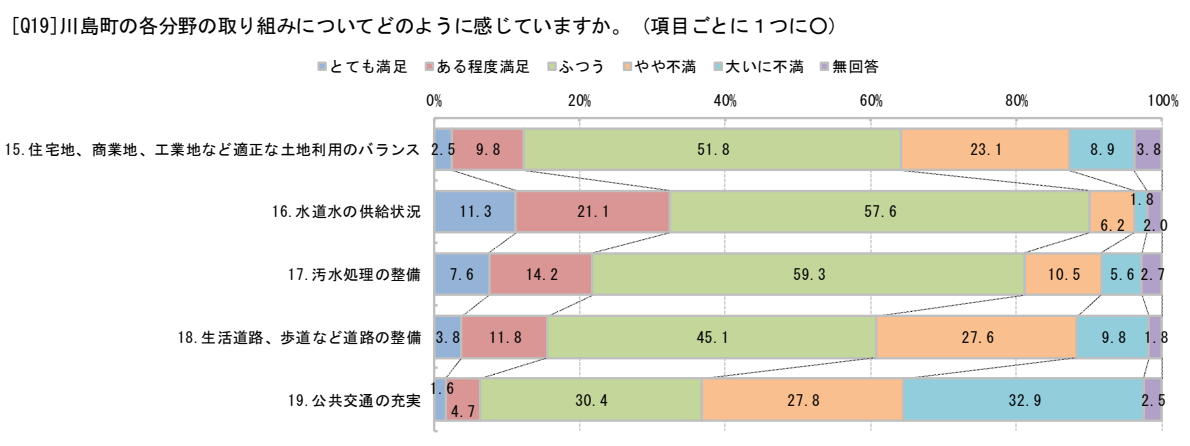
- 自然環境・生活環境に関する取り組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「10. ごみ分別収集の取り組み」（計 36.7%）となっている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「14. 用水路・排水路の整備」（計 36.0%）となっている。
- 河川に関する 13 番と 14 番の項目は、ともに満足と回答した人の割合が不満と回答した割合よりも小さい。

[Q19]川島町の各分野の取り組みについてどのように感じていますか。（項目ごとに1つに○）



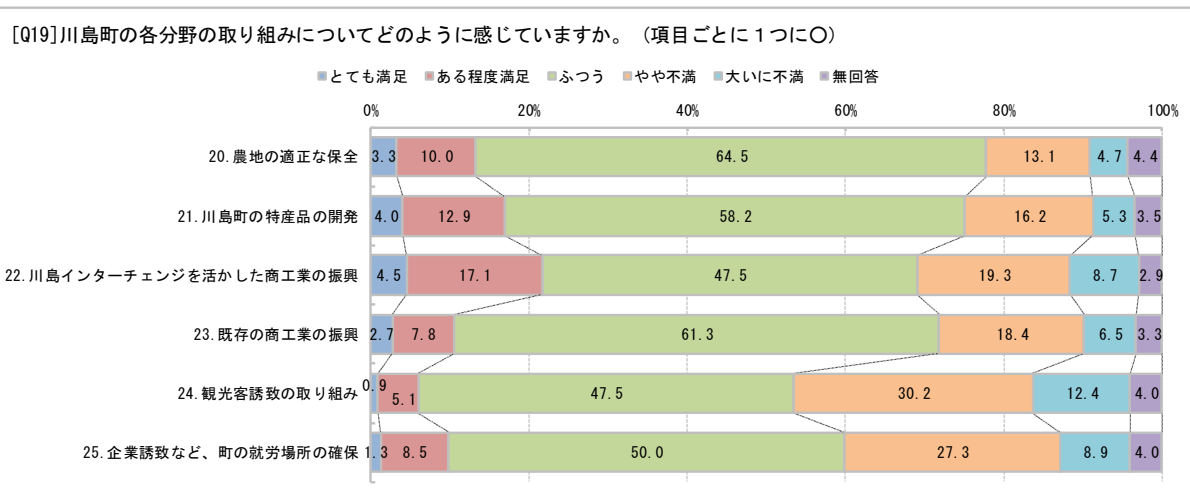
### 【分野別取り組み 都市基盤・土地利用】

- 都市基盤・土地利用に関する取り組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「16. 水道水の供給状況」（計 32.4%）となっている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「公共交通の充実」（計 60.7%）となっており、全 41 項目の中で最も大きい。



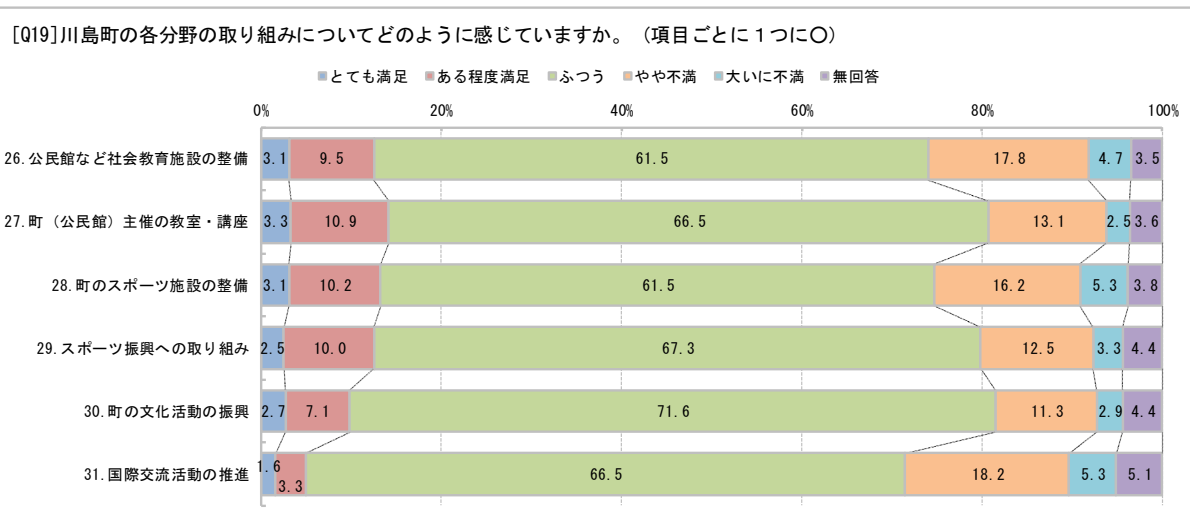
### 【分野別取り組み 農業・商業・工業・観光】

- 農業・商業・工業・観光に関する取り組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「22. 川島インターチェンジを活かした商工業の振興」（計 21.6%）となっている。
- しかしながら、同項目を含む全項目において、満足していると回答した割合は、不満と回答した割合を下回っている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「観光客誘致の取り組み」（計 42.6%）となっている。



【分野別取り組み 生涯学習・教育】

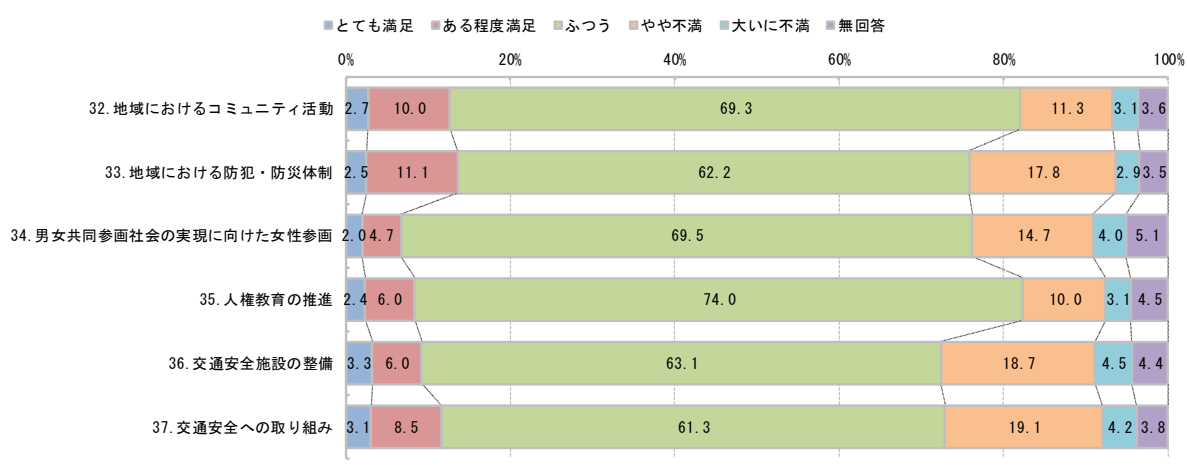
- 生涯学習・教育に関する取り組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「27. 町（公民館）主催の教室・講座」（計 14.2%）となっている。
- しかしながら、同項目を含む全項目において、満足していると回答した割合は、不満と回答した割合を下回っている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「31. 国際交流活動の推進」（計 23.5%）となっている。



### 【分野別取り組み 自治・コミュニティ】

- 自治・コミュニティに関する取り組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「33. 地域における防犯・防災体制」（計 13.6%）となっている。
- 一方で、「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が大きい項目は、「36. 交通安全への整備」（計 23.2%）、「37. 交通安全の取り組み」（計 23.3%）となっている。
- 同項目を含む全項目において、満足していると回答した割合は、不満と回答した割合を下回っている。

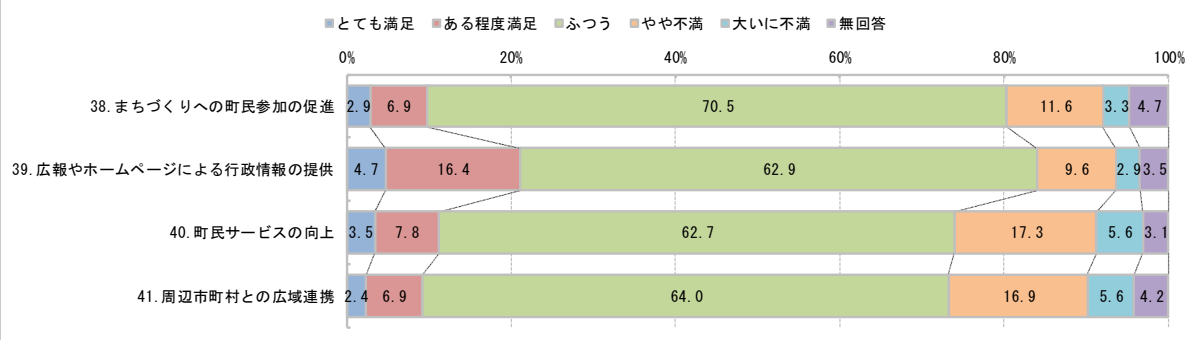
[Q19]川島町の各分野の取り組みについてどのように感じていますか。（項目ごとに1つに○）



### 【分野別取り組み 行財政運営】

- 行財政運営に関する取り組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「39. 広報やホームページによる行政情報の提供」（計 21.1%）となっている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「40. 町民サービスの向上」（計 22.9%）となっている。

[Q19]川島町の各分野の取り組みについてどのように感じていますか。（項目ごとに1つに○）



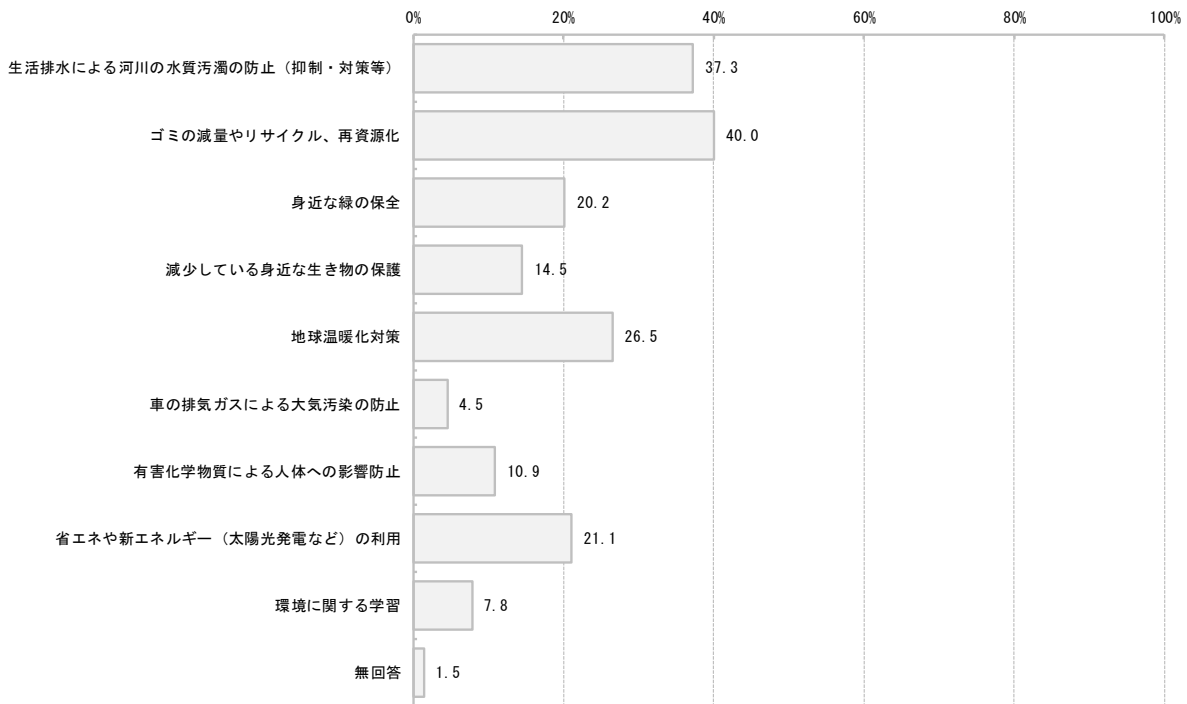
【評価指標の抽出】

- 第6次川島町総合振興計画において、以下の施策に対応した前ページまでのアンケートの小設問項目を評価指標として、暦年比較を行う。
- 「公園・緑地などの設置や整備」や「用水路・排水路の整備」、「地域におけるコミュニティ活動」の満足度は上昇しているものの、「公共交通の充実」や「人権教育の推進」、「まちづくりへの町民参加の促進」は低下している。

施策名	テーマ	No. 小設問	2022年		2020年	
			とても満足+ある程度満足	やや不満+大いに不満	とても満足+ある程度満足	やや不満+大いに不満
緑あふれる安心空間の整備	まもる	12. 公園・緑地などの設置や整備	27.5		25.3	
安心して暮らすための河川の整備	まもる	14. 用水路・排水路の整備	16.4		13.6	
持続可能な公共交通網の形成	まもる	19. 公共交通の充実	6.4		7.4	
いきがいの創出	つなぐ	32. 地域におけるコミュニティ活動	12.7		11.1	
人権尊重・男女共同参画の推進	まもる	35. 人権教育の推進		13.1		10.9
未来に向けて人と人をつなぐ	つなぐ	38. まちづくりへの町民参加の促進	9.8		10.7	

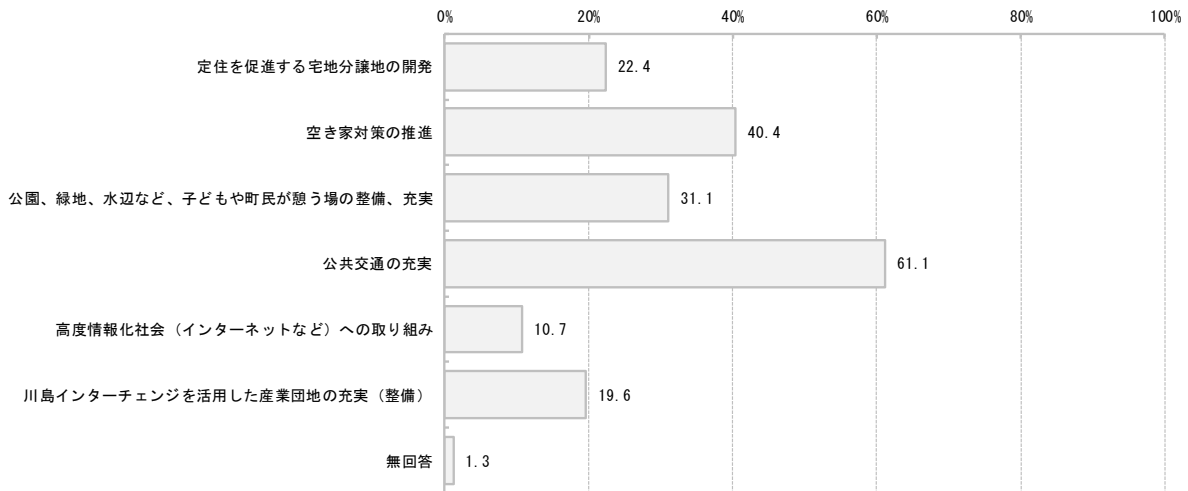
- 自然環境・生活環境において重点的に進めていくべき施策では、「ゴミの減量やリサイクル、再資源化」(40.0%)、「生活排水による河川の水質汚染の防止(抑制・対策等)」(37.3%)と回答した割合が大きい。

[Q20]自然環境・生活環境の取り組みで、次のうち、重点的に進めていくべき施策は何だと思いますか。  
(主なものを2つまで○)  
(n=550)



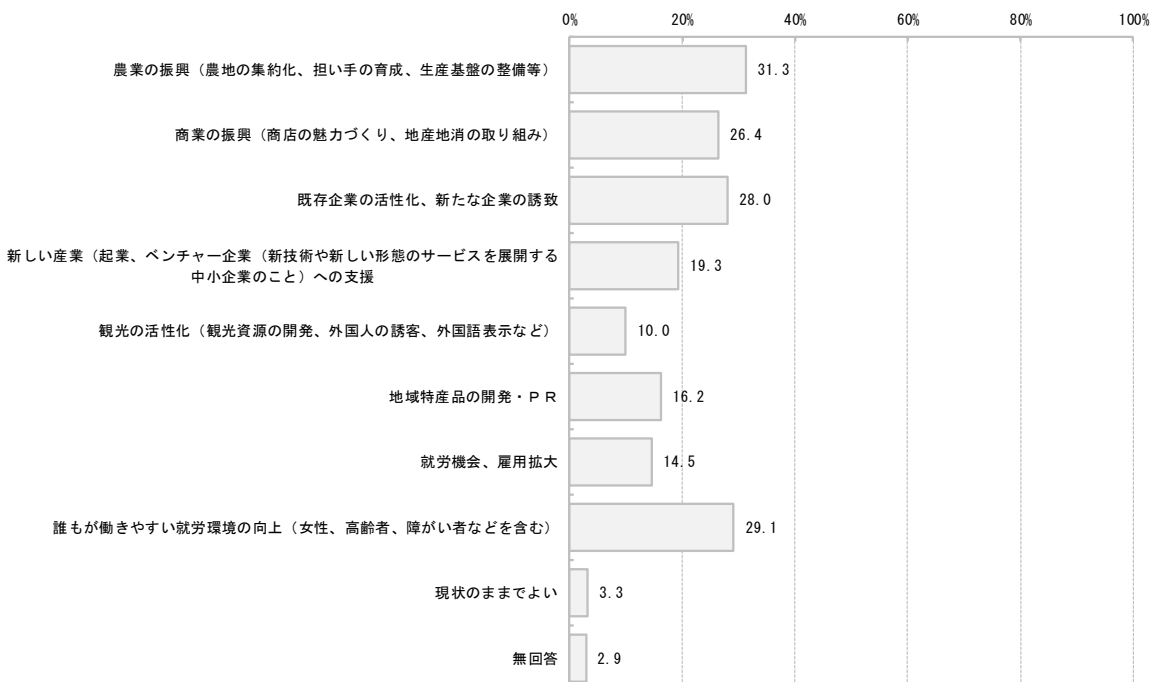
- 都市基盤において重点的に進めていくべき施策では、項目別で最も満足度が低かった「公共交通の充実」と回答した割合が 61.1%と大きく、「空き家対策の推進」が 40.4%と続いている。

[Q21]都市基盤の取り組みで、次のうち、重点的に進めていくべき施策は何だと思いますか。  
 (主なものを2つまでに○)  
 (n=550)



- 産業振興、雇用拡大において重点的に進めていくべき施策では、「農業の振興」と回答した割合が 31.3%と最も大きく、「誰もが働きやすい就労環境の向上」が 29.1%、「既存企業の活性化、新たな企業の誘致」が 28.0%、「商業の振興」が 26.4%と続いている。

[Q22]産業振興、雇用創出の取り組みで、次のうち、重点的に進めていくべき施策は何だと思いますか。  
 (主なものを2つまでに○)  
 (n=550)

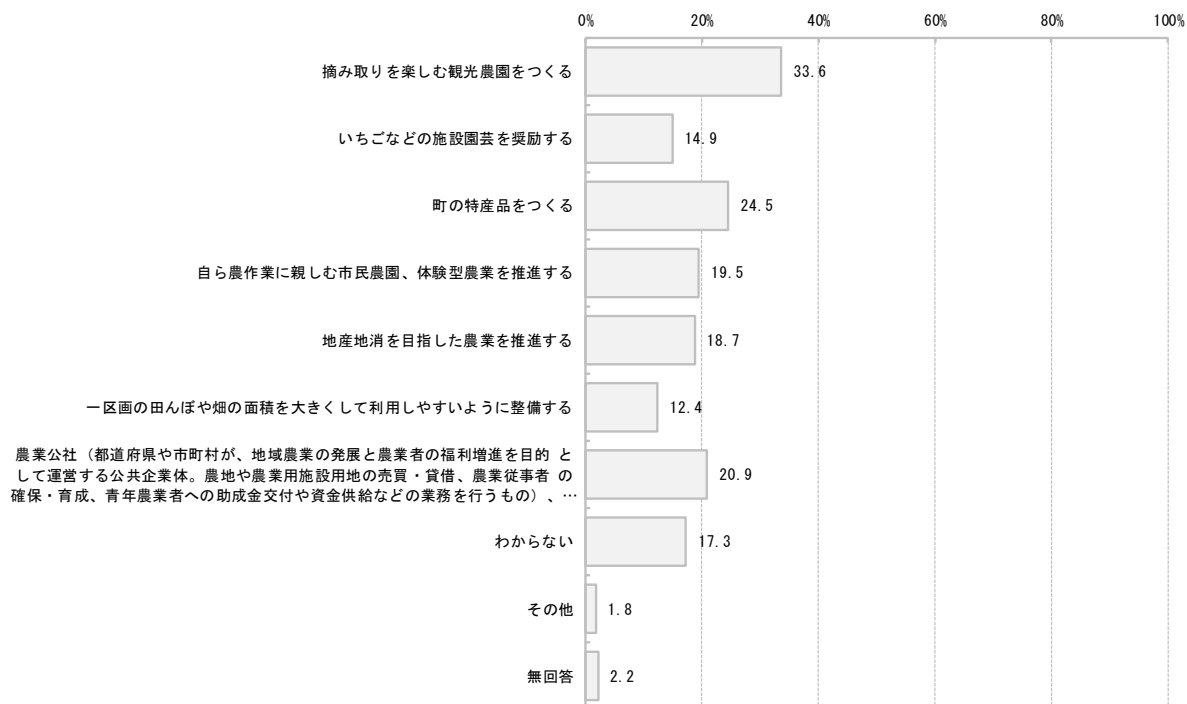


- 農業の振興に向けて進めていくべき施策では、「摘み取りを楽しむ観光農園をつくる」と回答した割合が 33.6%と最も大きく、次いで、「町の特産品をつくる」が 24.5%、「農業公社、農業法人の設立」が 20.9%と続いている。

[Q23]町の農業を振興するために、どのような農業経営を進めるべきだと思いますか。

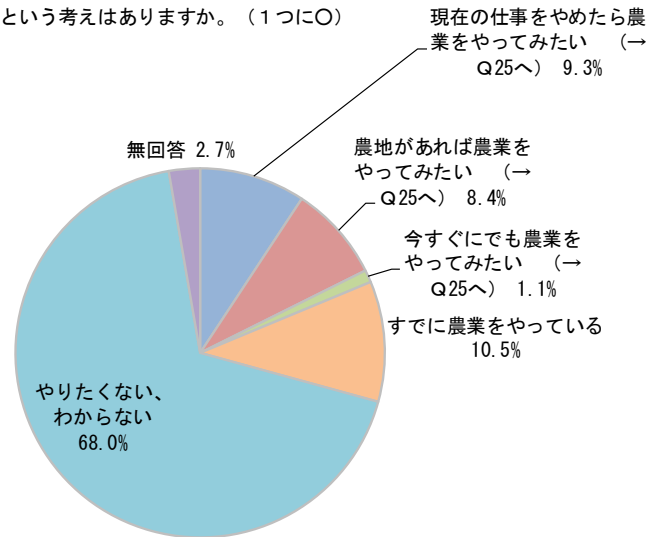
(主なものを2つまでに○)

(n=550)



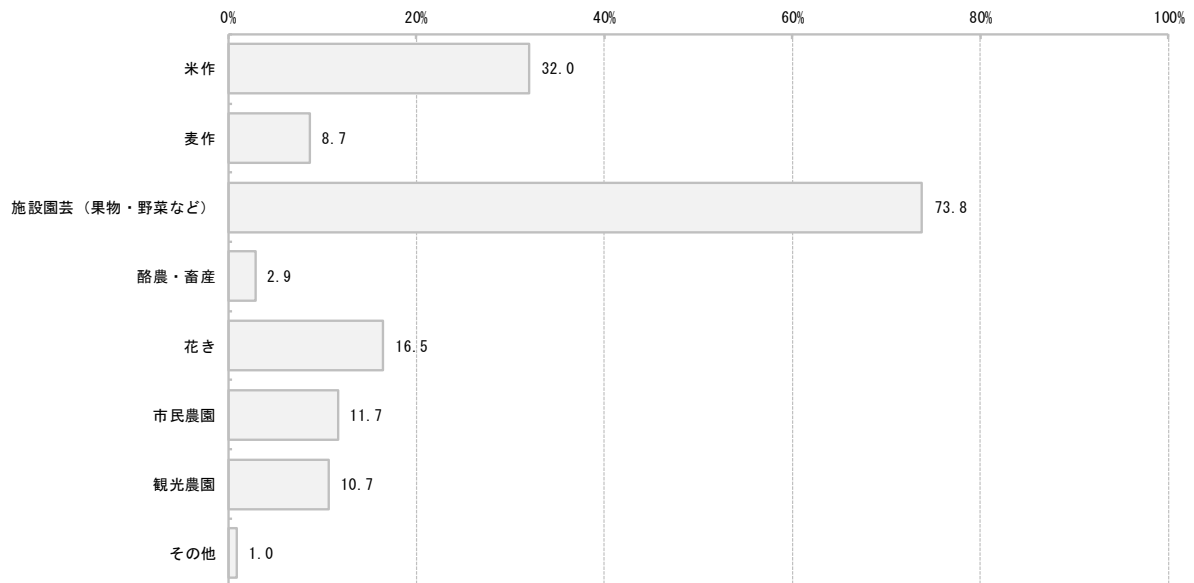
- 農業への就業希望では、「やりたくない、わからない」と回答した割合が68.0%と最も大きい。
- 一方で、「現在の仕事をやめたら農業をやりたい」が9.3%、「農地があれば農業をやりたい」が8.4%、「今すぐにでも農業をやりたい」が1.1%と就農意向者が約19%存在する。（「すでに農業をやっている」は10.5%）

[Q24]あなたは、新たに農業に就いてみたいという考えはありますか。（1つに○）  
 (n=550)



- やってみたい農業では、「施設園芸」と回答した割合が73.8%と最も大きく、次いで、「米作」が32.0%と続いている。

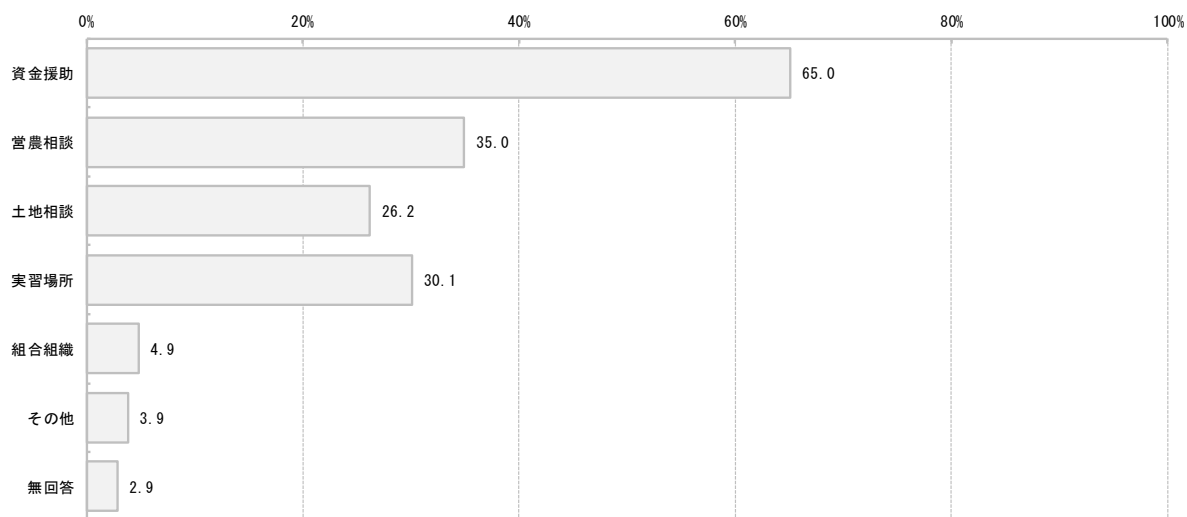
[Q25]前問で「1~3」に○をつけた方のみお答えください。  
 ①やってみたい農業は何ですか。（主なもの2つまでに○）  
 (n=103)





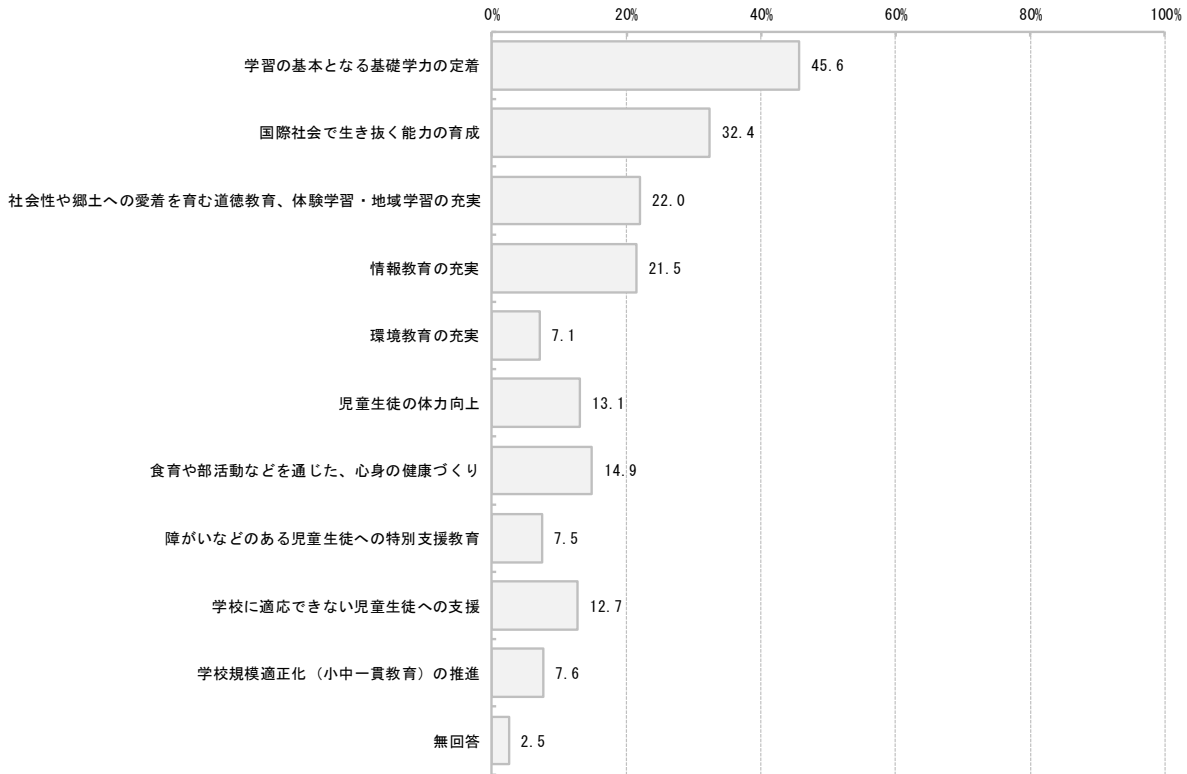
- 農業を開始するにあたって支援を要する事項としては、「資金援助」と回答した割合が65.0%と最も大きく、次いで「営農相談」が35.0%、「実習場所」が30.1%、「土地相談」が26.2%と続いている。
- 施設園芸に必要な資金・土地の確保と経営指導が必要であるとの回答が多い。

[Q26]前々問で「1～3」に○をつけた方のみお答えください。  
 ②やってみたい農業に必要なことは何ですか。(主なものを2つまでに○)  
 (n=103)



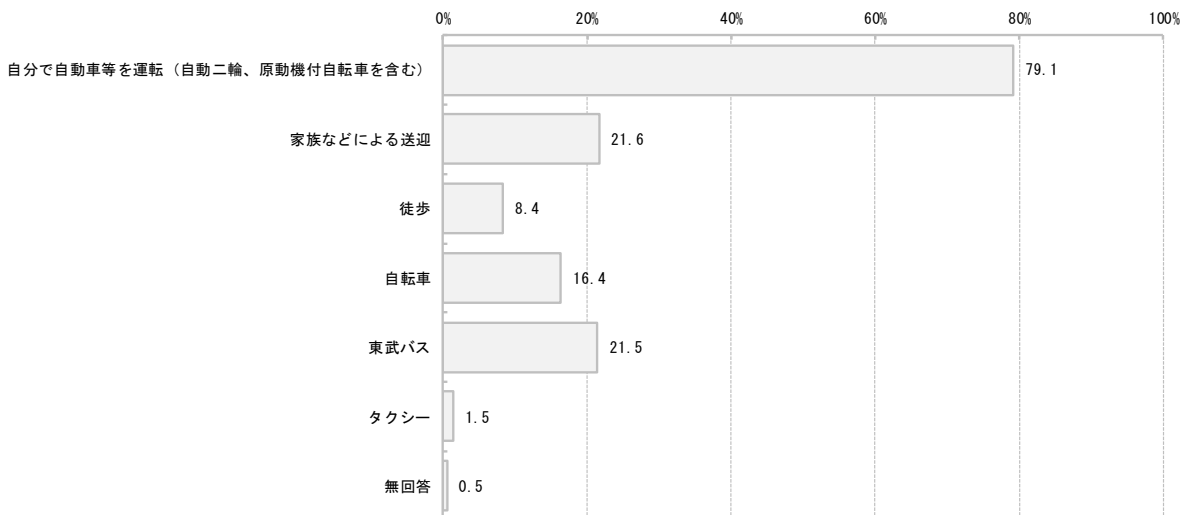
- 学校教育において重点的に進めていくべき施策では、「学習の基本となる基礎学力の定着」と回答した割合が45.6%と最も大きく、「国際社会で生き抜く能力の育成」が32.4%と続いている。

[Q27]町の学校教育で、次のうち、重点的に進めていくべきものは何だと思いますか。  
 (主なもの2つまで○)  
 (n=550)



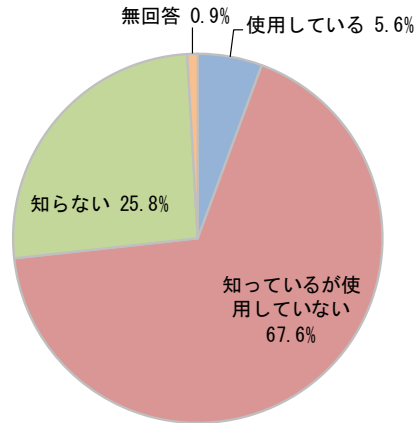
- 日常生活の移動手段では、「自分で自動車等を運転(自動二輪、原動機付自転車を含む)」と回答した割合が79.1%と圧倒的に大きく、次いで、「家族などによる送迎」が21.6%と続いている。

[Q28]あなたは、日常どのような手段で外出(移動)しますか。(主なもの2つまでに○)  
 (n=550)



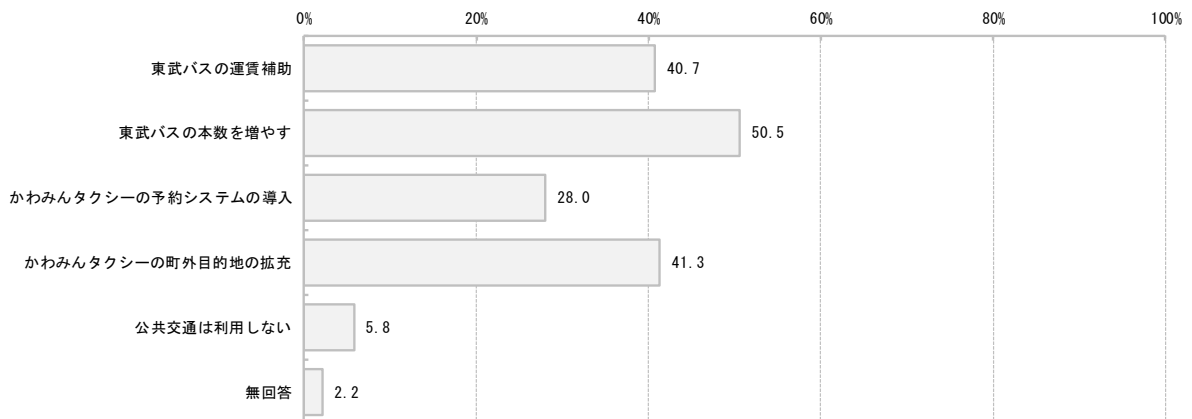
- かわみんタクシーの認知度では、「知っているが使用していない」と回答した割合が67.6%と大きくなっており、「知らない」が25.8%、「使用している」が5.6%と続いている。

[Q29]町では、事前に登録することにより、自宅などから町内の行きたい場所や指定の町外病院に行くことができ、交通弱者の日中の移動を支援する交通サービスである、かわみんタクシーを平成29年1月より本格運行しています。あなたは、そのサービスを知っていますか。（1つに○）  
(n=550)



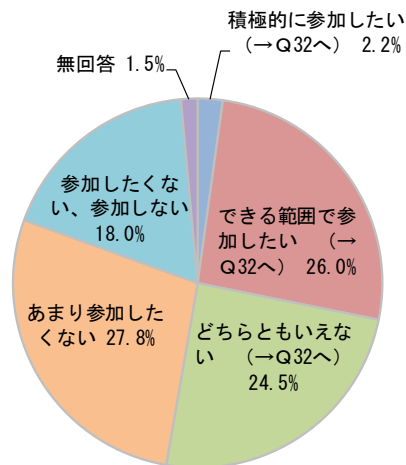
- 公共交通の充実に必要な施策では、「東武バスの本数を増やす」と回答した割合が50.5%と最も大きく、次いで、「かわみんタクシーの町外目的地の拡充」が41.3%、「東武バスの運賃補助」40.7%と続いている。
- 「公共交通は利用しない」の回答は5.8%にとどまっている。

[Q30]町では、かわみんタクシーの運行をしていますが、今後、町の公共交通等のさらなる充実に必要なのは、どのような取り組みだと思いますか。（主なものを2つまで○）  
(n=550)



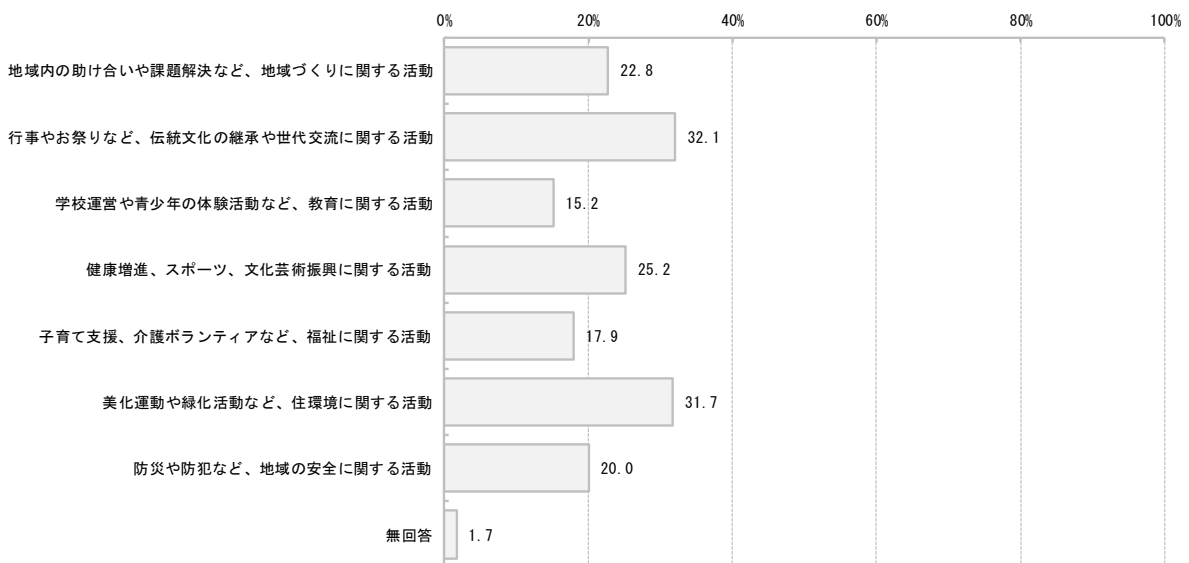
- ボランティア活動への参加意向では、「あまり参加したくない」と回答した割合が27.8%と最も大きく、次いで、「できる範囲で参加したい」が26.0%、「どちらともいえない」が24.5%、「参加したくない、参加しない」が18.0%と続いている。
- 「積極的に参加したい」+「できる範囲で参加したい」が計28.2%、「あまり参加したくない」+「参加したくない、参加しない」が計45.8%と、参加しない割合が大きくなっている。

[Q31]あなたは地域活動やボランティア活動などに参加したいですか。(1つに○)  
(n=550)



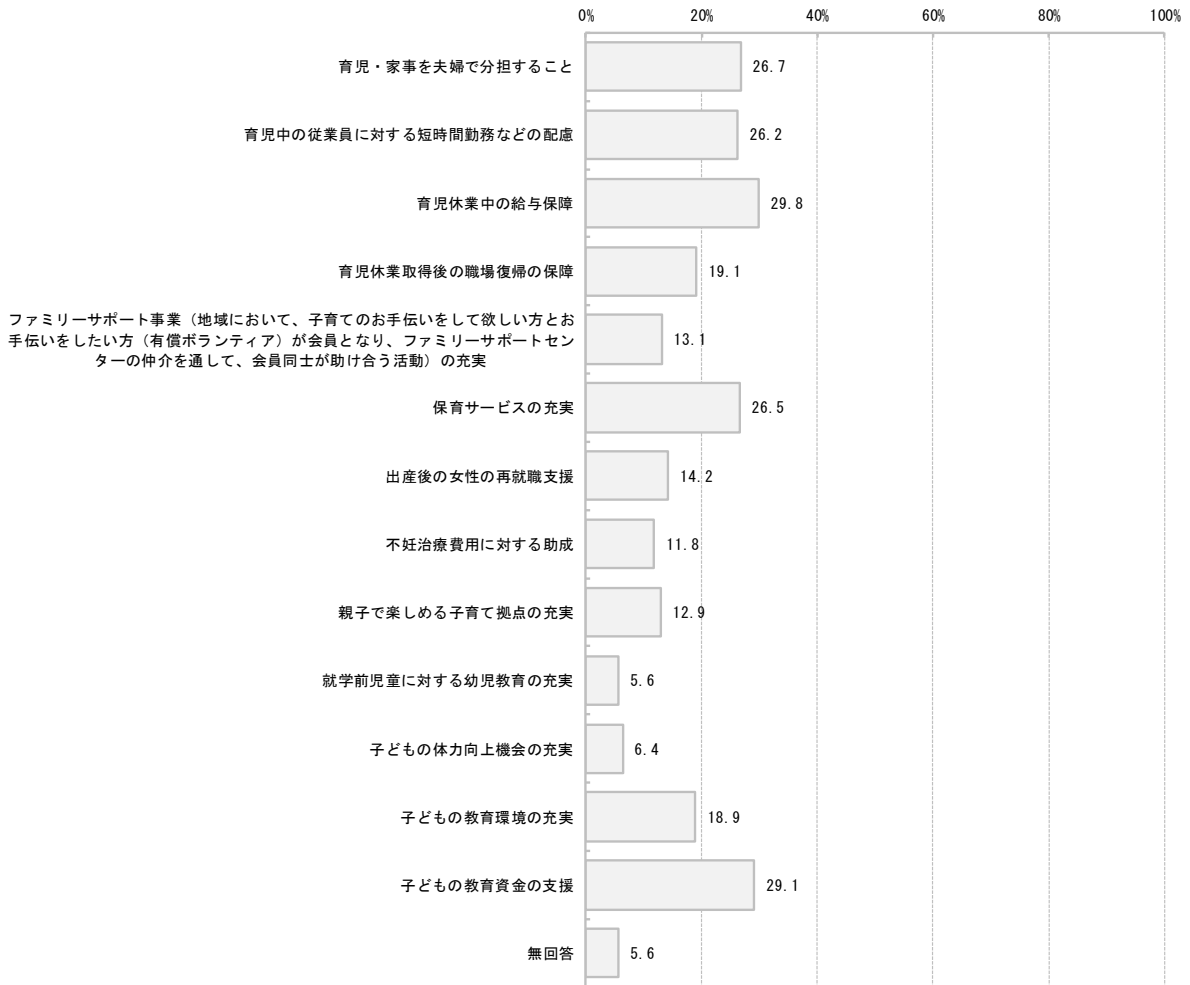
- ボランティアとして活動したい内容は、「行事やお祭りなど、伝統文化の継承や世代交流に関する活動」と回答した割合が32.1%と最も大きく、「美化運動や緑化活動など、住環境に関する活動」が31.7%と続いている。

[Q32]前問で「1~3」に○をつけた方のみお答えください。次のうち、どのような活動をしたいですか。  
(主なもの2つまでに○)  
(n=290)



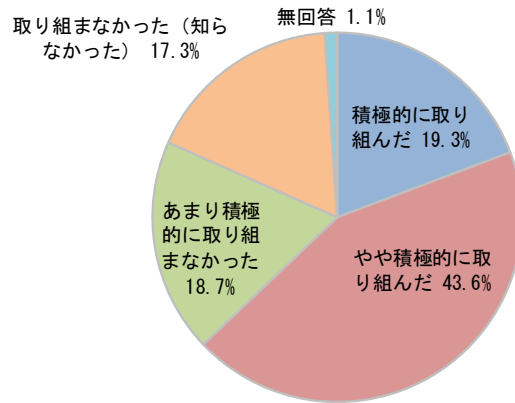
- 子育て支援・子育て環境の向上を進めるうえで効果的な施策では、「育児休業中の給与保障」と回答した割合が 29.8%と最も大きい。次いで、「子どもの教育資金の支援」29.1%、「育児・家事を夫婦で分担すること」が 26.7%、「保育サービスの充実」が 26.5%、「育児中の従業員に対する短時間勤務などの配慮」が 26.2%と続いている。

[Q33]子育て支援・子育て環境の向上を進める上で、次のうち、どのような対策が効果的だと思いますか。  
 (主なものを3つまでに○)  
 (n=550)



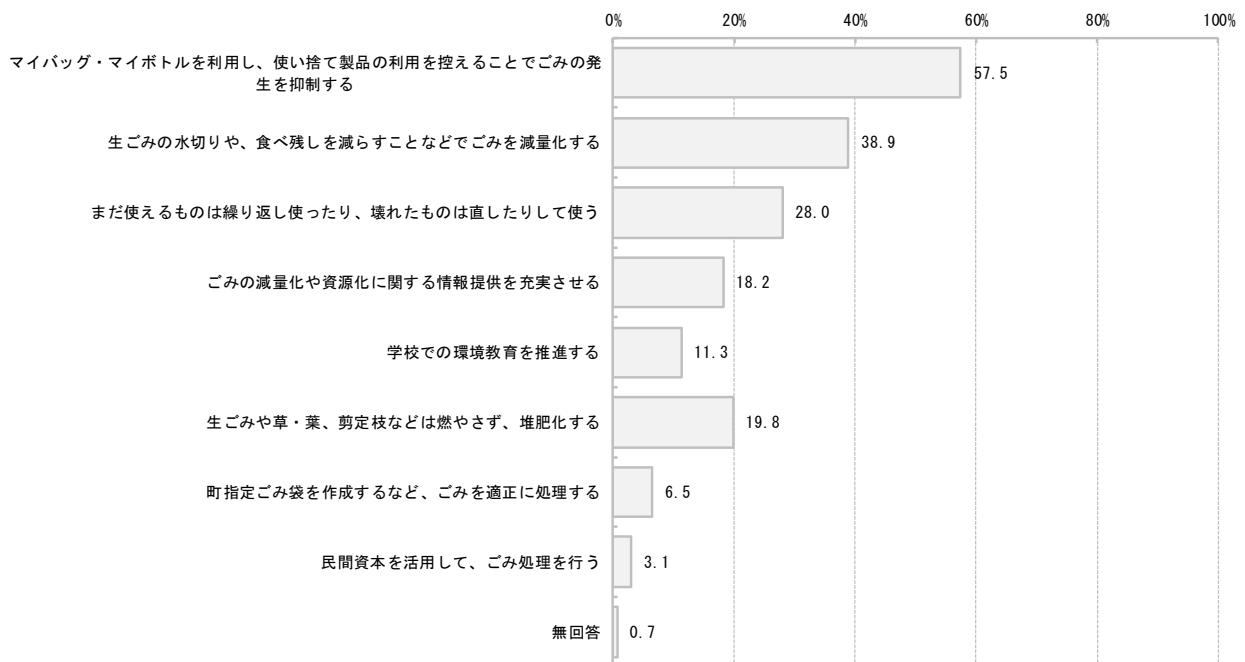
- 可燃ごみ削減への取り組みでは、「積極的に取り組んだ」「やや積極的に取り組んだ」と回答した割合が計62.9%と、「あまり積極的に取り組まなかった」「取り組まなかった（知らなかった）」と回答した割合（計36.0%）を大きく上回る。

[Q34]町では、可燃ごみの減量化に平成29年度より取り組み、目標としていた20%減量（平成28年度比）を達成しました。あなたは、どのくらい取り組みに参加しましたか（1つに○）  
(n=550)



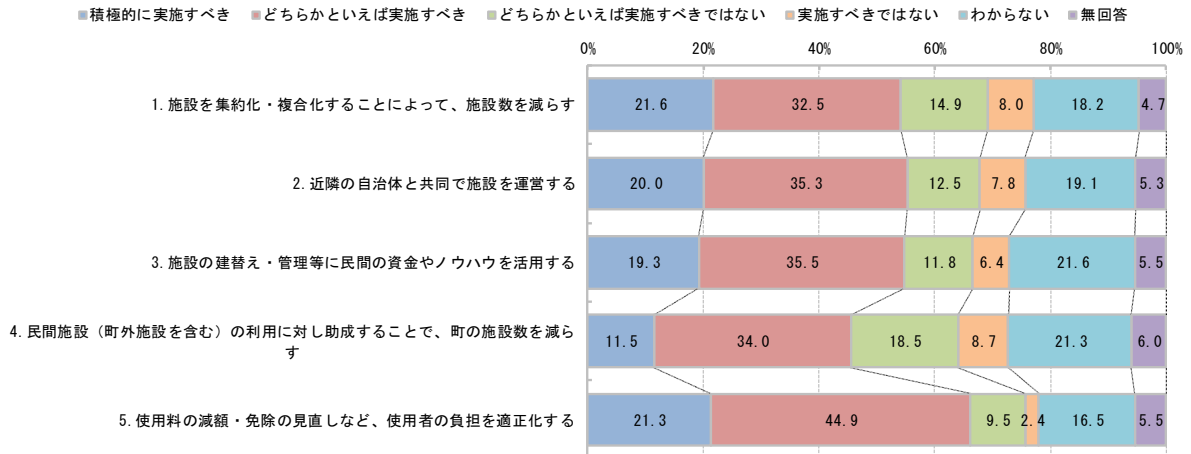
- ごみの減量化や資源化に向けて必要と思われる取り組みでは、「マイバッグ・マイボトルを利用し、使い捨て製品の利用を控えることでごみの発生を抑制する」が57.5%と回答した割合が最も大きい。
- 一方で、「民間資本を活用して、ごみ処理を行う」は3.1%と最も小さい。

[Q35]ごみ処理施設の適正な運用のためには、更なるごみの減量化や資源化が必要です。あなたが必要だと思う取り組みは何だと思えますか。（主なものを2つまでに○）  
(n=550)



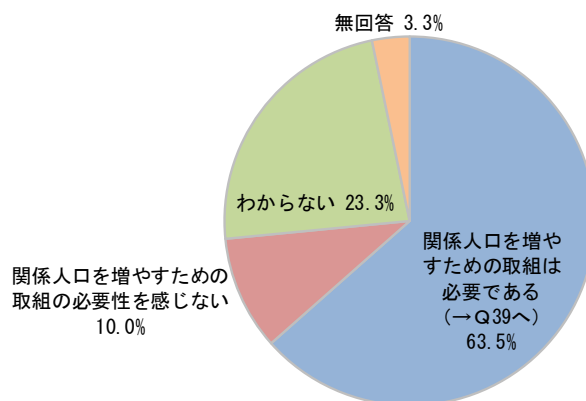
- 公共施設の総延床面積の削減に対する意見では、「積極的に実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」と回答した割合が 50%超となっている項目が多い。(4. 民間施設の利用に対し助成することで町の施設数を減らすは 46%程度)

[Q36]町では、人口減少や財政負担の縮減や平準化等の観点から、公共施設の総延床面積を40年間で30%削減することを目標にしており、公共施設の課題解決に向け、様々な視点で取り組みを検討する必要があります。あなたは、これらの取り組みについてどう思いますか。(項目ごとに1つに○)



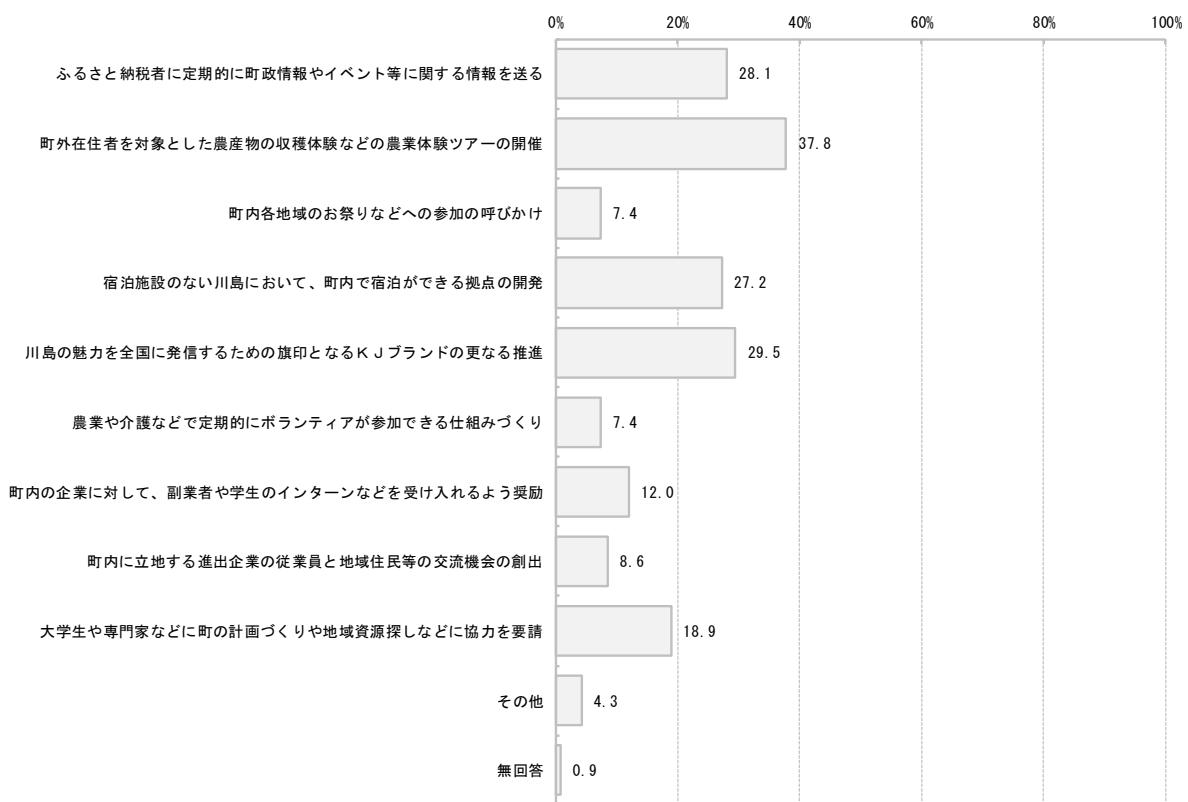
- 関係人口を増やすための取り組みを必要だと考える割合は、63.5%と 6 割超の町民が必要だという認識を持っている。
- 「関係人口を増やすための取組の必要性を感じない」は 10.0%にとどまっている。「わからない」の回答も 23.3%と約 1/4 を占めている。

[Q38]町外に住む人々で、自分のお気に入り地域に週末に通ったり、頻繁に通わなくても、ふるさと納税をしたり、何らかの形でその地域を応援したい気持ちを持っている方々を「関係人口」と呼びます。関係人口を増やすことが、地域の活性化や人口減少対策のために必要であると考えられています。あなたは川島町の関係人口を増やすための取り組みが必要だと思いますか。(1つに○)  
(n=550)



- 関係人口を増やすための取り組みとして力を入れるべき事項では、「町外在住者を対象とした農産物の収穫体験などの農業体験ツアーの開催」と回答した割合が37.8%と最も大きく、次いで「川島の魅力を全国に発信するための旗印となるKJブランドの更なる推進」が29.5%、「ふるさと納税者に定期的に町政情報やイベント等に関する情報を送る」が28.1%、「宿泊施設のない川島において、町内で宿泊ができる拠点の開発」が27.2%と続いている。
- その他の回答では、「集客力のある施設、設備、企業、クルマイベントの誘致」や「町がドラマやアニメなどの舞台になる」などがあつた。

[Q39]前問で「1」に○をつけた方のみお答えください。  
 関係人口を増やすためにどのようなことに力を入れると良いと思いますか。（主なものを2つまでに○）  
 (n=349)





### Ⅲ. まとめ

アンケートの設問7では、川島町の各分野の取り組みに対する満足度を点数化している。問7の小設問を総合計画で掲げている4つの柱「まもる」「つなぐ」「つくる」「そだてる」別にグルーピングし、それぞれ点数付けした結果を以下のとおり点数表にした。

【問7 小設問別点数表】

テーマ	小設問	全体	1	2	3	4	5	無回答	点数
まもる	1.健康づくり	(550)	26	121	355	28	8	12	3.17
まもる	2.地域の福祉ボランティア活動	(550)	18	81	389	40	8	14	3.04
まもる	3.バリアフリーのまちづくり	(550)	18	52	354	92	14	20	2.83
そだてる	4.保育サービスや子育て支援の充実	(550)	23	84	323	71	26	23	2.89
そだてる	5.子どもの遊び場や児童施設の整備	(550)	25	83	277	106	38	21	2.80
まもる	6.障がいのある方でも安心して生活できる環境の整備	(550)	14	50	337	104	26	19	2.76
まもる	7.高齢者でも安心して生活できる環境の整備	(550)	16	58	291	125	45	15	2.69
つなぐ	8.青少年が健やかに育つための取り組み	(550)	15	42	368	82	23	20	2.79
まもる	9.地球温暖化対策	(550)	13	41	379	66	31	20	2.78
まもる	10.ごみ分別収集の取り組み	(550)	47	155	274	46	17	11	3.25
まもる	11.環境保全対策の推進	(550)	17	54	389	50	20	20	2.89
まもる	12.公園・緑地などの設置や整備	(550)	30	121	263	90	30	16	2.97
まもる	13.大きな河川の整備	(550)	29	109	234	107	55	16	2.82
まもる	14.用水路・排水路の整備	(550)	18	72	247	132	66	15	2.64
まもる	15.住宅地・商業地・工業地など適正な土地利用のバランス	(550)	14	54	285	127	49	21	2.63
まもる	16.水道水の供給状況	(550)	62	116	317	34	10	11	3.28
まもる	17.汚水処理の整備	(550)	42	78	326	58	31	15	3.00
まもる	18.生活道路、歩道など道路の整備	(550)	21	65	248	152	54	10	2.67
まもる	19.公共交通の充実	(550)	9	26	167	153	181	14	2.07
まもる	20.農地の適正な保全	(550)	18	55	355	72	26	24	2.81
つくる	21.川島町の特産品の開発	(550)	22	71	320	89	29	19	2.84
つくる	22.川島インターチェンジを活かした商工業の振興	(550)	25	94	261	106	48	16	2.81
つくる	23.既存の商工業の振興	(550)	15	43	337	101	36	18	2.72
つくる	24.観光客誘致の取り組み	(550)	5	28	261	166	68	22	2.40
つくる	25.企業誘致など、町の就労場所の確保	(550)	7	47	275	150	49	22	2.54
そだてる	26.公民館など社会教育施設の整備	(550)	17	52	338	98	26	19	2.78
そだてる	27.町（公民館）主催の教室・講座	(550)	18	60	366	72	14	20	2.89
そだてる	28.町のスポーツ施設の整備	(550)	17	56	338	89	29	21	2.78
そだてる	29.スポーツ振興への取り組み	(550)	14	55	370	69	18	24	2.83
つなぐ	30.町の文化活動の振興	(550)	15	39	394	62	16	24	2.83
つなぐ	31.国際交流活動の推進	(550)	9	18	366	100	29	28	2.63
つなぐ	32.地域におけるコミュニティ活動	(550)	15	55	381	62	17	20	2.87
まもる	33.地域における防犯・防災体制	(550)	14	61	342	98	16	19	2.82
まもる	34.男女共同参画社会の実現に向けた女性参画	(550)	11	26	382	81	22	28	2.71
まもる	35.人権教育の推進	(550)	13	33	407	55	17	25	2.81
まもる	36.交通安全施設の整備	(550)	18	33	347	103	25	24	2.72
まもる	37.交通安全への取り組み	(550)	17	47	337	105	23	21	2.76
つなぐ	38.まちづくりへの町民参加の促進	(550)	16	38	388	64	18	26	2.81
つなぐ	39.広報やホームページによる行政情報の提供	(550)	26	90	346	53	16	19	3.00
まもる	40.町民サービスの向上	(550)	19	43	345	95	31	17	2.77
つなぐ	41.周辺市町村との広域連携	(550)	13	38	352	93	31	23	2.71

※「とても満足」を5点、「ある程度満足」を4点、「ふつう」を3点、「やや不満」を2点、「大いに不満」を1点として換算し、各回答数と乗算した値を全回答数の550で割った値

※最高点を黄色塗り、最低点を緑色塗りで表示している。

### 【問7 満足度テーマ別平均点】

満足度テーマ別平均点の暦年比較をすると、全体として下降傾向にあり、つなぐとつくるが0.04ポイント、そだてるが0.02ポイント低下している。

第6次川島町総合振興計画の戦略目標を下表のとおり取りまとめた。また、戦略目標に定める重要施策等の状況は、次のとおり記載する。

2022年		2020年	
まもる	2.82	まもる	2.82
つなぐ	2.80	つなぐ	2.84
つくる	2.66	つくる	2.70
そだてる	2.83	そだてる	2.85
全体	2.80	全体	2.81

#### 1. 「まもる」：平均2.82点

##### (1) 重要施策1：災害に備える環境整備

「大きな河川の整備」が2.82点、「用水路・排水路の整備」が2.64点と、テーマ平均点（2.82%）を下回る。

##### (2) 重要施策2：持続可能な循環型社会の実現

「ごみ分別収集の取り組み」は、3.25点と全項目で二番目に高くなっている。

##### (3) 重要施策以外の項目

「水道水の供給状況」は、3.28点と全項目の中で一番高い。一方で、「公共交通の充実」が最下位の2.07点となっている。

#### 2. 「つなぐ」：平均2.80点

##### (1) 重要施策1：つどいの場の創出

「地域におけるコミュニティ活動」は、2.87点とテーマ平均点（2.80点）を上回っている。

##### (2) 重要施策2：新しい自治体コミュニケーションの推進

「広報やホームページによる行政情報の提供」は、3.00点と平均点を上回っている。

##### (3) 重要施策以外の項目

「国際交流活動の推進」は、2.63点、「周辺市町村との広域連携」は、2.71点と平均点を下回っている。

#### 3. 「つくる」：平均2.66点

##### (1) 重要施策1：川島インターチェンジ周辺整備の推進

「川島インターチェンジを活用した商工業の振興」は、2.81点とテーマ平均点（2.66点）を上回っている。

(2) 重要施策2：地域資源の総動員による稼ぐ力の向上

「川島町の特産品の開発」は、2.84点で平均点を上回っており、「観光客誘致の取り組み」は、2.40点で平均点を下回っている。

(3) 重要施策以外の項目

「つくる」は、他と比して満足度が低い。「企業誘致など、町の就労場所の確保」が2.54点と低くなっており、平均点を押し下げている。

4. 「そだてる」：平均2.83点

(1) 重要施策1：夢を育む新たな学校づくり

小中一貫教育校計画の推進に関する項目は見当たらない。重要施策であるので、指標とすべきデータ収集を目的とした調査が必要である。

(2) 重要施策2：社会を生き抜く人材の育成

「町（公民館）主催の教室・講座」のは、2.89点とテーマ平均点（2.83点）を上回っている。

(3) 重要施策以外の項目

「そだてる」の満足度は他と比して最も高いが、「スポーツ振興への取り組み」は、とても満足の回答数が他と比べて少ない。